

縦隔腫瘍

【集学的治療の実施状況】

○呼吸器外科

CTをはじめとする画像検査や耐術能検査を行って全身をくまなく評価し、オーダーメイドな手術を行っています。手術は体へのダメージが少ないモニター視のみの胸腔鏡下手術をメインに、隣接臓器の合併切除を伴う手術は開胸手術（胸骨正中切開など）で行っております。

近年は胸腔鏡下手術における方法も多様化してきており、当院でも多孔式だけではなく単孔式も採用しております。

また、チーム医療（呼吸器内科、放射線科、病理診断科、リハビリテーション科、外来・病棟看護師、医療ソーシャルワーカーなど）も重視しており、患者さんにとってベストと思われるオーダーメイドな治療をチーム一丸となって行っております。

○放射線科

画像診断と放射線治療を行います。

○栄養サポートチーム（NST）

医師、栄養士、看護師、薬剤師等が連携し、がんや治療の副作用による食欲低下、体重減少等に対するサポートを行っています。

○緩和ケアチーム

医師、認定看護師、認定薬剤師、管理栄養士、心理士、医療ソーシャルワーカーなどから構成されたチームが中心となり、患者の身体的苦痛や精神的苦痛の緩和に努めます。

《準じているガイドライン》

縦隔腫瘍取り扱い規約

がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン（日本緩和医療学会）

苦痛緩和のための鎮静に関するガイドライン（日本緩和医療学会）

終末期癌患者に対する輸液療法のガイドライン（日本緩和医療学会）

がん患者の消化器症状の緩和に関するガイドライン（日本緩和医療学会）

がん患者の呼吸症状の緩和に関するガイドライン（日本緩和医療学会）

がん性痛に対するインターベンショナル治療ガイドライン（日本ペインクリニック学会）

神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン（日本ペインクリニック学会）

在宅緩和ケアガイドブック（日本緩和医療学会）